

【資料 1】

第 1 回福山市都市マスタープラン検討委員会 の振り返り

第1回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- ・日時：2024年（令和6年）9月4日（水）18：30～
- ・場所：福山市役所本庁舎3階 大会議室
- ・参加者：

	所 属	役 職	名 前
1	広島大学	教授	田中 貴宏
2	呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮
3	福山市農業委員会	会長職務代理	岡本 卓也
4	福山商工会議所	専務理事	小林 仁志
5	福山市商工会連絡協議会	会長	榊原 哲也
6	福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
7	社会福祉法人 福山市社会福祉協議会	課長	竹廣 陽子
8	社団法人 広島県宅地建物取引業協会福山支部	福山支部長	浅利 清
9	市民委員		田村 晃宏
10	市民委員		土居 稔弘
11	市民委員		森山 恵
12	国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所	副所長	小田 嘉幸
13	広島県東部建設事務所	次長	新家 治
14	福山市建設局	局長	市川 清登



第1回検討委員会の様子

第1回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- 議題

・組織

・都市マスタープランの概要について

・上位計画等の主な改定内容

・次期都市マスタープランの構成と改定のスケジュール
- ・福山市の現状

・現行都市マスタープランの主な取組実績

・市民アンケートの実施内容

・主な意見：次期都市マスタープランの構成と改定のスケジュール

意見	事務局回答
都市拠点集中型から多極ネットワーク型コンパクトシティに考え方が大きく変わる中で、現行計画と同じ区域割で支障はないか。	現時点では前回と比較する面で、 現行の区域割 でよいと考えている。
パブリックコメントの実施の期間・方法・内容について、なるべく多くの市民の意見を拾えるように実施する必要がある。また、パブリックコメントだけでなく、様々な団体から多くの意見を拾えるシステムとする必要がある。	パブリックコメントについては、全体がまとまってから実施したいと考えている。募集期間については、 最低 1 か月以上 を予定している。周知方法については、 ホームページやLINE を検討している。 都市計画審議会への報告や市議会からの意見もいただきながら、 多くの市民の意見を拾える手段を検討 していきたい。

・主な意見：福山市の現状

意見
・他県や他市への転出・転入など人口の推移を踏まえて、都市マスタープランを考えるべきである。

第1回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- 議題
- ・組織

・都市マスタープランの概要について

・上位計画等の主な改定内容

・次期都市マスタープランの構成と改定のスケジュール
- ・福山市の現状

・現行都市マスタープランの主な取組実績

・市民アンケートの実施内容

・主な意見：現行都市マスタープランの主な取組実績

意見
・公共交通は利用者数を踏まえ、ニーズに合った公共交通を配置するとともに、市民の利便性など地域の活性化に繋がるよう都市マス
を策定する必要がある。
・大前提として、人口減少に応じた計画にするのか、人口が減少してもまちの規模を維持していく計画にするのかを考える必要がある。
・駅を中心
にまちづくりを行う発想が必要な地域がある一方で、ニュータウンなどは、バスで結ぶといった考え方が必要となる。
・高速道路網と工業地域のアクセスを踏まえて、産業面をどうしていくべきか検討
する必要がある。
・都市計画事業には相当程度年数を要するものがあるため、個別事業の実施にあたっては事業評価を行いながら、本市、市民、備後圏域全体にとって必要な施設を位置付けていく必要がある。

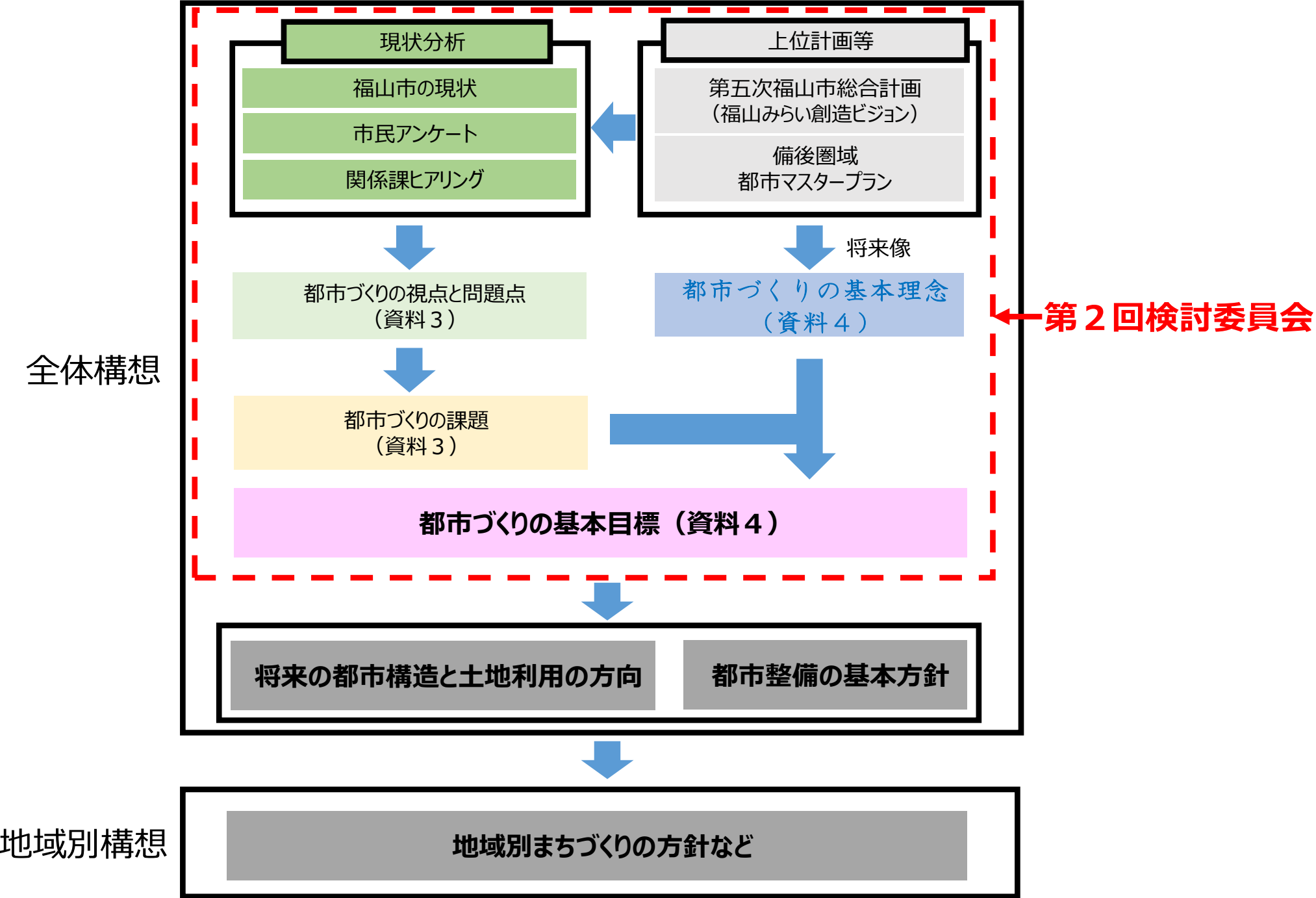
・主な意見：市民アンケートの実施内容

意見
・市民アンケートの回答として、想定される選択肢の中から優先順位をつけていき、選択肢以外の内容がある場合は、その他欄を設けて記入できる形式が望ましい。
・子育てや教育に関する項目・設問を設ける必要がある。
・難しい用語は説明を追加するか分かりやすい表現に変えるなど回答率が高くなるような工夫が必要である。

【資料 2】

次期福山市都市マスタープラン策定に向けた
全体の流れ

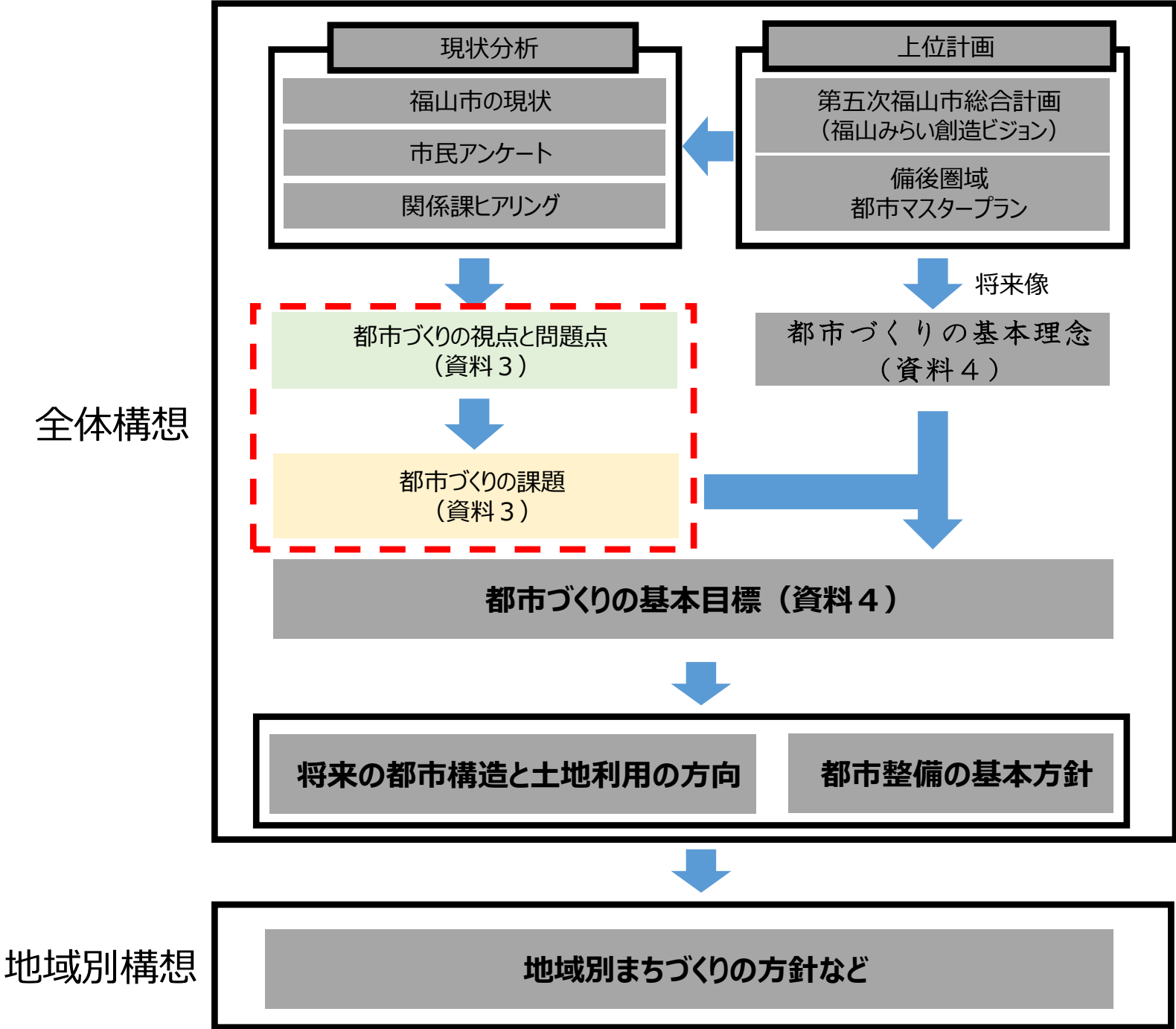
次期福山市都市マスタープラン策定に向けた全体の流れ



【資料 3】

都市づくりの視点と課題

都市づくりの視点と課題



都市づくりの視点と課題

＜都市マスタープランに関する問題の抽出＞

◆都市計画運用指針の動向

◆備後圏域都市マスタープラン

◆福山みらい創造ビジョン

これらの上位計画や指針に記載されている課題を確認して、問題点の抽出を行う

都市づくりの視点と課題

＜都市計画運用指針の主な改定内容＞

◆多様化する地域ニーズへの対応

工場や研究施設、物流施設といった産業立地等の多様化する地域ニーズについて、市街化区域だけでなく市街化調整区域や都市計画区域外も含めた全体で示すことが重要。

◆公共交通ネットワークの確保・充実

拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの確保・充実が必要。

◆「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり

拠点内の回遊性や滞在性を向上させることが重要。

◆災害リスクへの対応

災害の発生の恐れのある土地の区域について方針を示し、災害に強いまちづくりと併せて都市のコンパクト化を進めることが必要。

◆脱炭素型まちづくり

コンパクトシティの取組は、公共交通の利用促進と相まって、自動車に過度に依存しない生活の実現を図るものであることから、地域の脱炭素化に資する取り組みである。

◆グリーンインフラとしての整備

自然環境の整備又は保全の意義について、グリーンインフラとして適切に整備・保全していく必要がある。

◆都市のスポンジ化

低未利用土地対策に関連する施策を講じ、エリア価値の維持・向上に向けたスポンジ化対策に向けた取組を推進することが望ましい。

都市づくりの視点と課題

〈備後圏域都市計画マスタープランの都市づくりの視点に紐づく内容〉

（１）コンパクト＋ネットワーク型の都市

- ・道路や鉄道などにより、重層的なネットワークを形成。
- ・医療・福祉等の都市機能や公共交通の整備・再編により居住を誘導。

（２）活力を生み出す都市

- ・製造業の集積促進を図るため、新たな受け皿整備を推進。
- ・福山駅周辺においては、都市機能の強化や、商店街の再生によるにぎわい創出。

（３）魅力あふれる都市

- ・多様な歴史・文化資源の保存・活用を推進。

（４）安全・安心に暮らせる都市

- ・激甚化する自然災害や南海トラフ地震等の広域災害への対策。
- ・都市の低炭素化の推進。
- ・安全で快適に移動できる都市空間づくり。

（５）住民主体のまちづくりが進む都市

- ・住民やまちづくり団体などと行政が協働。

都市づくりの視点と課題

＜福山みらい創造ビジョンの都市づくりの視点に紐づく内容＞

挑戦 1 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造

- 1 – 1 福山駅周辺の玄関口機能の強化
- 1 – 2 戦略的な観光振興

挑戦 2 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現

⇒都市計画としての視点ではないが、居住環境やユニバーサルデザインの視点から子育てや医療・福祉の充実を図る必要はある。

挑戦 3 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築

- ・ 3 – 1 循環型地域経済の形成
- ・ 3 – 3 農林水産業の振興
- ・ 3 – 4 都市基盤の強化
- ・ 3 – 5 防災・減災の推進
- ・ 3 – 6 安心・安全な暮らしの確保
- ・ 3 – 7 環境にやさしいまちづくり

挑戦 4 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興

- ・ 4 – 2 多様性ある地域コミュニティづくり

挑戦 5 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

- ・ 5 – 1 歴史・文化の薫るまちづくり
- ・ 5 – 2 スポーツによるにぎわいづくり（魅力的なスポーツ拠点の創出）

都市づくりの視点と課題

上位計画、国、社会情勢など本市を取り巻く状況

都市づくりの視点と問題点

1.人口動態について

- ・人口減少
- ・少子高齢化

6.公共施設等について

- ・公共施設等の老朽化
- ・厳しい財政状況

2.産業について

- ・労働市場の縮小
- ・産業用地の不足

7.自然災害について

- ・自然災害の頻発化と激甚化

3.居住環境について

- ・多様化する居住ニーズ
- ・空き家等の増加

8.景観・歴史・文化について

- ・地域資源の活用

4.中心市街地について

- ・低未利用地の顕在
- ・駅周辺の滞在性

9.環境について

- ・気候変動

5.公共交通・道路ネットワークについて

- ・公共交通利用者数の減少
- ・慢性的な交通渋滞

10.ユニバーサルデザインについて

- ・誰もが暮らしやすい

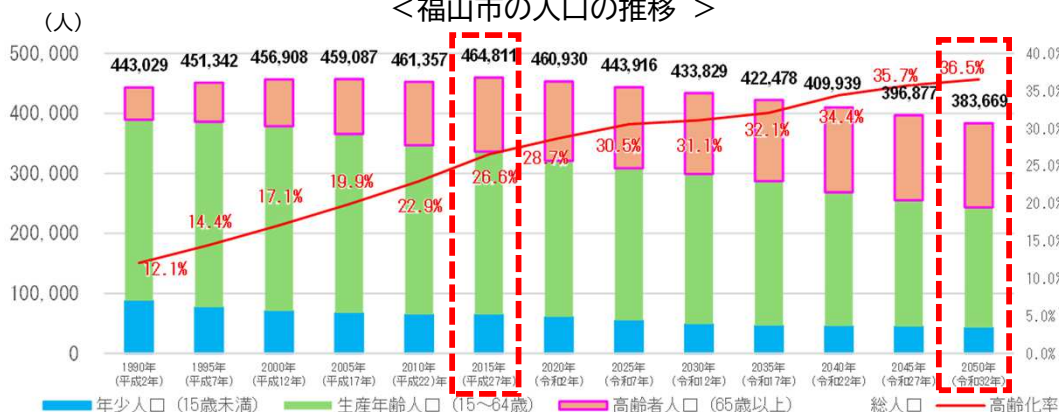
都市づくりの視点と課題

1.人口動態について

人口減少、少子高齢化

- ✓我が国の人口は**2011年（平成23年）以降人口減少**しており、2070年（令和52年）には9000万人を割り込み、高齢化率も38.7%まで上昇すると予測
- ✓本市の人口は**2015年（平成27年）**時点で約46.5万人をピークとして、2020年（令和2年）に約46.1万人となり、**2050年（令和32年）には約38.4万人（2015年（令和27年）の約83%）**になると予測
- ✓**高齢者人口**は増加傾向にあり、**今後も増加の一方で、年少人口は減少傾向**
- ✓2020年（令和2年）以降では転出者が転入者を上回り**転出超過**

＜福山市の人口の推移＞

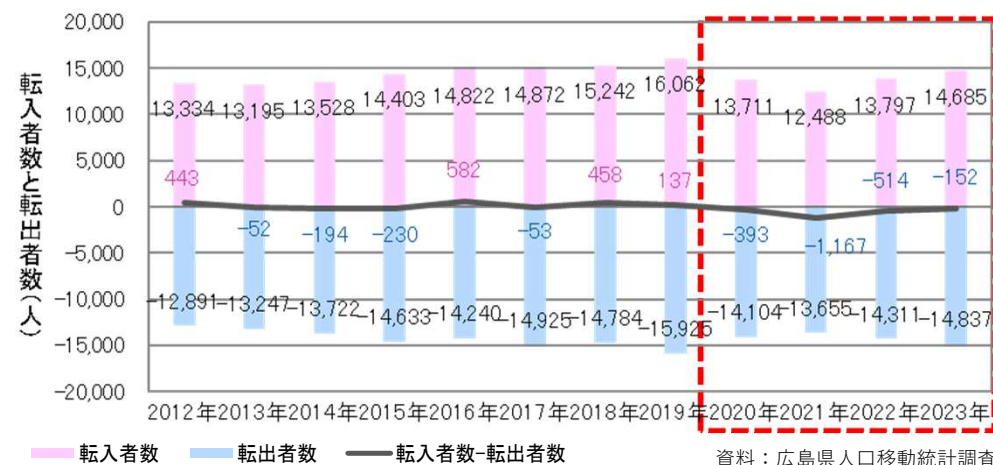


資料：国勢調査(H2-R2)、国立社会保障・人口問題研究所(R7-R32)を基に作成

- ✓現在の市街地を維持したままでは、医療・福祉、子育て、商業など**生活サービスの提供**や**地域の活力維持が満足できなくなる**ことが懸念
- ✓産業や社会の担い手不足、高齢者の移動手段の確保等の地域の衰退等が懸念
- ✓**拠点ごとに一定の人口密度が維持**され、生活に不可欠な施設がまとまって立地する、**歩いて暮らせる市街地の形成が必須**

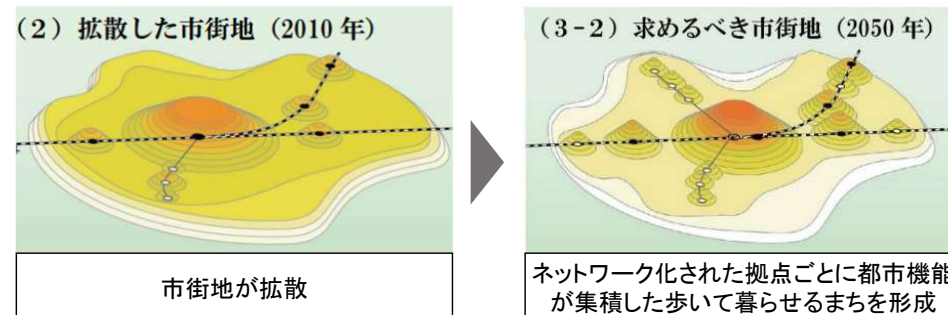
- ✓**拠点形成、土地利用及び適切な都市機能の配置など人口減少・少子高齢化に対応した都市構造の実現が必要**

＜福山市の転出入者数の推移＞



資料：広島県人口移動統計調査

＜現在の都市構造及び目指すべき将来都市構造＞



資料：福山市立地適正化計画（2020.4）福山市

都市づくりの視点と課題

2.産業について

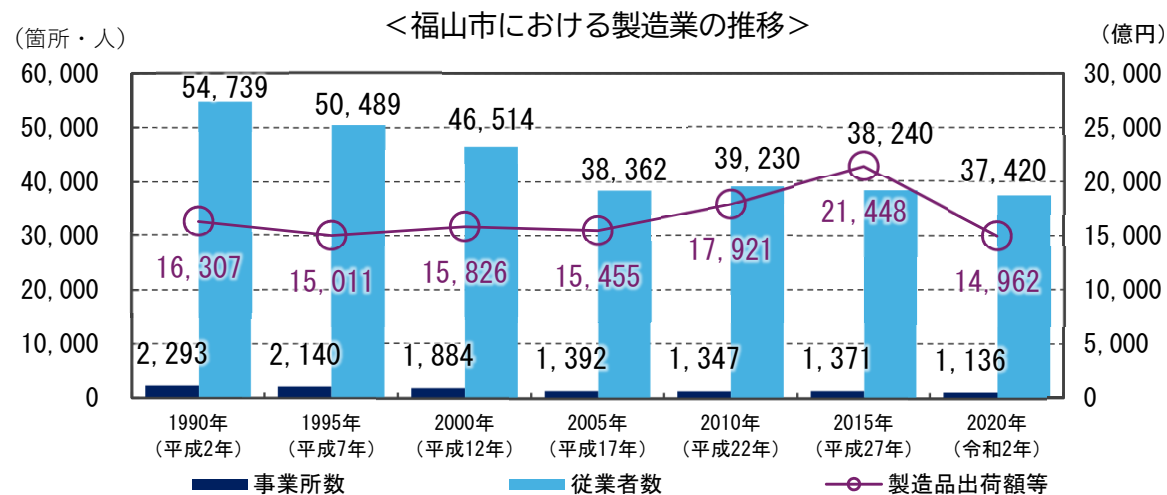
✓備後圏域都市計画区域マスタープランでは、県内には、製造業などのものづくり産業が地域経済を牽引しているが、**人口減少に伴う労働市場の縮小、企業の流出**などを背景とした**地域経済の縮小**が懸念

✓また、既存の**工業集積地**は、広域交通ネットワークとの連携強化などを通じて、**生産拠点としての機能の維持・強化**が示され、I C周辺等については、農地・森林としての利用との調整を図りながら**新規工業地の配置**を推進

✓本市においては、市街化区域内に**工場**などの**適地が不足**している状況であるため、**市街化調整区域も含めた産業用地の確保等**による**工場の新規立地を促進**

✓また、**国道2号の慢性的な交通渋滞**が生じており、**新たな道路の建設**など産業を支える**幹線道路**が不可欠

労働市場の縮小、産業用地の不足



＜福山北産業団地第2期事業＞



資料：第253回広島県都市計画審議会 (R6.2)

＜国道2号の現状＞



資料：福山みらい創造ビジョン (2021.3) 福山市

✓**生産基盤や物流機能の維持・強化が必要**

都市づくりの視点と課題

3.居住環境について

- ✓**上下水道の耐震化・長寿命化対策**、効率的・効果的な污水处理施設整備など**生活環境の維持・向上に向けた取り組み**を推進
- ✓老朽化、市民ニーズの変化に対応し、**魅力ある公園の整備**に向け、福山市公園整備基本方針検討委員会を設置
- ✓方針の策定に向け、複数の社会実験を実施
- ✓広島県では、住生活基本計画（広島県計画）（令和4年3月）を策定し、子育てしやすい居住環境の整備、バリアフリー化、空き家の活用促進等、**多様なニーズへの対応**を図る。また、**災害に対する安全な居住環境の形成**やリモートワークや二地域居住等の**新しい働き方・住まい方**を促進。
- ✓さらに、公営住宅における新婚世代の入居の優遇や高齢者、障害者向け住宅の確保など**少子高齢化への対応**も推進
- ✓本市では高齢者単身世帯、高齢夫婦世帯が増加しており、高齢者に対応した住環境へのニーズが増加。また、**本市における空家率も増加傾向にあり**、空家の増加による、景観悪化、不法侵入、住みつき、不法投棄、放火などの犯罪リスクの増加が懸念
- ✓本市では住生活基本計画（2016年（平成28年）4月）を策定し、**子育てに配慮した住宅・住環境の整備を推進**するほか、第2期福山市空家等対策計画（2021年（令和3年）3月）を策定し、**空家の適正管理**を目指す

多様化する居住ニーズ、空き家等の増加

<社会実験の様子（ナイトパーク星空防災編）>



防災テントの組み立て



かまどベンチ

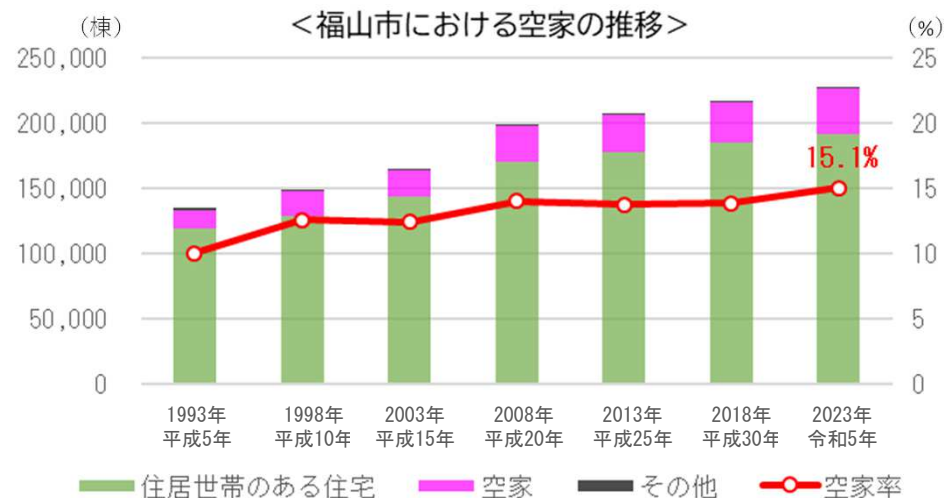


防災食の試食



天体観測

資料：福山市公園整備基本方針検討委員会
第5回事務局資料（2024.10）福山市



✓**社会環境の変化を踏まえた上下水道・公園・緑地等の各種インフラ整備や空き家対策など住宅周辺の環境整備が必要**

都市づくりの視点と課題

4. 中心市街地について

- ✓国土交通省は、**今後のまちづくり**の方策として、官民の**パブリック空間をウォーカブルな人中心の空間**へ転換し、民間企業と連携しながら「**居心地が良く歩きたくなるまちなか**」の創出を推進
- ✓備後圏域都市計画区域マスタープランにおいても、駅など**交通結節点**や**中心市街**において**ウォーカブルで移動しやすい都市空間づくり**を推進

＜居心地がよく歩きたくなるまちなかのイメージ＞

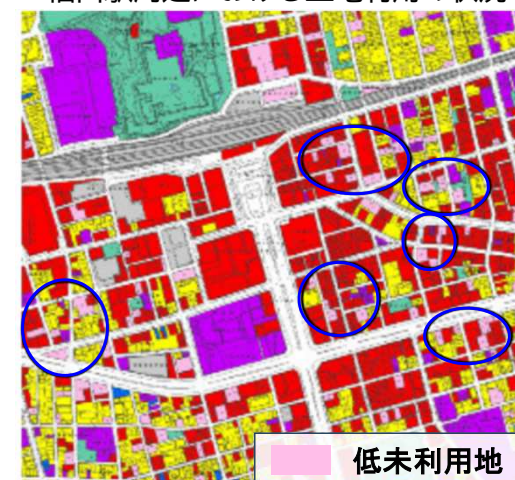


資料：まちなかウォーカブル推進プログラム（R6）国土交通省

低未利用地の顕在、駅周辺の滞在性

- ✓本市の**中心市街地**等において空地やコインパーキング等の**低未利用地**が発生しており、**都市の活力の減少**が懸念
- ✓福山みらい創造ビジョン、**福山駅前再生ビジョン**において、**歩行者優先の空間への転換**を明記
- ✓福山駅周辺デザイン計画を策定し、再生ビジョンの実現に向けて、**官民が連携してウォーカブルなまちづくり**を推進

＜福山駅周辺における土地利用の状況＞



資料：備後圏域都市計画区域マスタープラン（R3.3）広島県

＜本市におけるウォーカブル空間の形成に向けた社会実験＞



資料：福山駅周辺デザイン計画 2024 福山市

✓福山駅周辺においてウォーカブル空間の形成による都市の魅力向上が必要

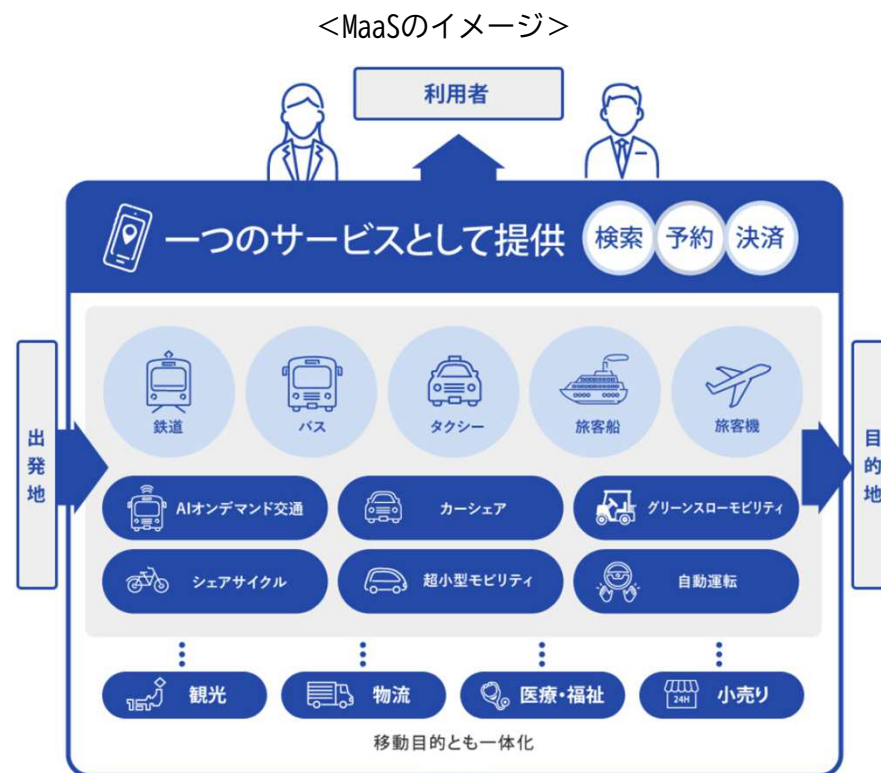
都市づくりの視点と課題

5. 公共交通・道路ネットワークについて

- ✓地域公共交通は、**人口減少**や**高い自家用車保有率**を背景として、**地域公共交通は維持・存続の危機**
- ✓国土交通省では、多様な主体の連携・協働の推進、デジタル技術の実装を通じて**地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性を高める公共交通の「リ・デザイン」を推進**
- ✓福山・笠岡地域公共交通計画（2024年（令和6年）3月）において地域公共交通の持続性の確保、まちづくりとの連携等が課題であると指摘
- ✓本市は課題解決に向けた取り組みとして、**バス路線の再編・増便、複数市町を跨る乗合タクシーの導入、自動運転の実装に向けた実証実験、MaaSアプリの導入検討**などがある
- ✓備後圏域都市計画区域マスタープランにおいて、**福山道路、福山西環状線などの未整備区間の整備**推進が明示
- ✓国道2号をはじめとする主要な幹線道路の**慢性的な交通渋滞**への対応に加えて、**災害時におけるダブルネットワークの構築**に向け**幹線道路網の早期整備を国・県と共に推進**
- ✓生活に密着した**生活道路の整備・維持管理の充実**

- ✓**広域交通ネットワークを活かした都市間連携及び渋滞解消に向けたアクセス改善等を図ることが必要**
- ✓**市民の移動ニーズを考慮した利用しやすい公共交通サービスの実現のため、公共交通網の再構築などが必要**

公共交通利用者数の減少、慢性的な交通渋滞



資料：国土交通省HP 日本版MaaSの推進

都市づくりの視点と課題

6. 公共施設等について

- ✓国土交通省は、第5次社会資本整備重点計画を策定し、**安心安全の確保、持続可能な地域社会の形成、経済成長の実現**を中長期的目標として設定
- ✓上記目標の達成に向け、**多様な主体の連携、ハード・ソフト一体の施策**の実施、**維持管理を見据えた取組み**及び**インフラ経営**の視点が必要と指摘
- ✓広島県では市町が管理する道路施設を対象として、諸元・点検結果・修繕履歴の蓄積・劣化予測及び補修計画のシミュレーション等が可能な**アセットマネジメントシステム**を構築し、**市町の長寿命化修繕計画の策定を効率的に支援**
- ✓本市では、福山市公共施設等サービス再構築基本方針（2024年（令和6年）3月）を策定し、公共施設等の老朽化、変化する人口構造、市民ニーズへの対応、厳しい財政状況等を踏まえ、**増大する公共施設等の総合的かつ計画的な維持管理**を目指し、**配置及び規模の適正化、計画的保全、長寿命化**等を推進

公共施設等の老朽化、厳しい財政状況

<具体的な取り組みのイメージ>

■インフラの点検（橋梁）



丸之内公園水泳場（廃止）



竹ヶ端運動公園水泳場（廃止）



緑町公園屋内競技場（再編）



資料：福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）
（2020年（令和2年）2月）福山市

資料：福山市

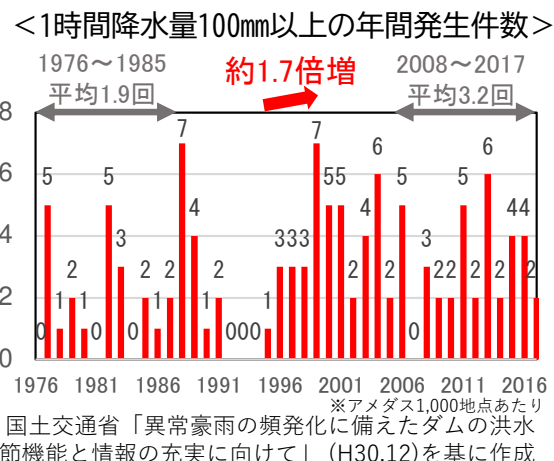
- ✓**厳しい財政状況の中、的確に市民ニーズに応えていくためには、公共施設等の配置及び規模の適正化を図るとともに、計画的な維持管理が必要**

都市づくりの視点と課題

7.自然災害について

✓全国では、1時間降水量100mm以上の年間発生件数は、1976年（昭和51年）から1985年（昭和60年）の10年間は、平均1.9回であるが、2008年（平成20年）から2017年（平成29年）までの10年間では、平均3.2回と1.7倍に増加するなど**水害・土砂災害が頻発化・激甚化**

✓本市においても平成30年7月豪雨では、総雨量394mmの降雨により、約2,000haという**県内で最も広範囲な浸水被害が発生**。被害が広範囲に及んだほか、**農業用ため池**においては**一部堤体の決壊や損壊**などによる**下流への被害が発生**



<平成30年7月豪雨（福山市）>



資料：福山市HP

自然災害の頻発化と激甚化

✓広島県では近年の気候変動による水害の頻発化・激甚化に備え、**河川・下水道の管理者が主体となって行う治水対策**に加え、河川流域全体の関係者（国・県・市町・企業・住民等）が協働し、**流域全体で水害を軽減させる対策「流域治水」への転換を推進**。**芦田川流域治水プロジェクト2.0**を立ち上げ、**流域治水の取組を加速化・深化**を目指す

✓また、**災害リスクの高い区域における都市的土地利用を抑制**及び**災害リスクの低い区域への居住誘導**を目的とした、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の市街化調整区域への編入（**逆線引き**）についても推進

<逆線引きの取組の進め方>



資料：広島県HP

✓自然災害のリスクが高まる状況において、包括的な防災対策が急務

都市づくりの視点と課題

8. 景観・歴史・文化について

地域資源の活用

✓備後圏域都市計画区域マスタープランにおいて、歴史的・文化的資源の保存・活用を図るとともに、豊かな自然環境などの**多様な地域資源を活用**し、地域の魅力を高め、国内のみならず、海外を含めた**交流人口の拡大**を推進

✓本市では福山市地域戦略（2022年（令和4年）3月）を策定し、市内に存在する福山城や鞆の浦などの**景観・歴史・文化的資源を活用**し、地域の魅力や郷土意識が向上や歴史・伝統文化・自然が調和した潤い溢れるまちとすることで、**定住・交流・関係人口の増加**を目指す。

<福山城>



資料：福山市

<鞆の浦>



資料：福山市HP

<福山市鞆町伝統的建造物群保存地区>



資料：全国伝統的建造物群保存地区協議会HP

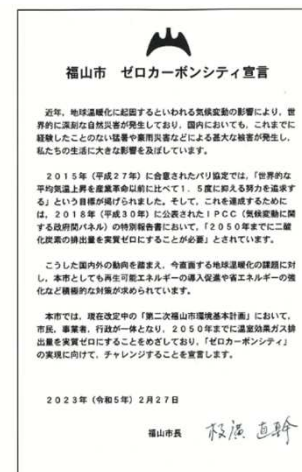
✓景観・歴史・文化的資源の保存・活用が必要

9. 環境について

気候変動

- ✓地球温暖化による気候変動や自然災害への対応を目的として、**温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」に関する取組を強化**
- ✓自然環境が有する機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を社会における様々な課題解決に活用し、魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるグリーンインフラに関する取り組みを推進する考え方で、国において緑の基本方針（令和6年12月）を策定
- ✓本市では、脱炭素・循環型社会の構築、地域環境の保全、自然共生社会の構築をはじめとする、**環境にやさしいまちづくり等の社会の実現に向けた取組**を推進

<脱炭素・循環型社会の構築に向けた取組>



【福山市ゼロカーボンシティ宣言】



【福山ローズエネルギーセンター】

- ・2024年（令和6年）8月供用開始
- ・広域処理（府中市・神石高原町）
- ・発電出力：14,500kW ※中四国最大級
- ・最大発電効率27.6% ※国内最大レベル

資料：福山市SDGs未来都市計画（2023.8）

✓地球温暖化を背景とした脱炭素・循環型社会の構築、地域環境の保全、自然共生社会を重視した都市形成の推進が必要

都市づくりの視点と課題

10.ユニバーサルデザインについて

誰もが暮らしやすい

✓備後圏域都市計画マスタープランでも「**安全で快適に移動できる都市空間づくり**」として、J R 駅や市役所などの**公共施設が集約した地区**を中心として、**バリアフリー化**を推進。移動の円滑化を図り、**誰もが安全で快適に移動できる都市づくり**を推進。

✓少子高齢社会の到来や女性の社会進出が進む中、子育て世帯が生活しやすい環境の整備や、高齢者が健康で安心して暮らせる環境の整備が求められている。

【バリアフリー】

障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、より広く障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味

【ユニバーサルデザイン】バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方

資料：総務省HP

<官庁施設のユニバーサルデザインのイメージ>



段差がなく、見通しの良いアプローチ通路
視覚障がい者誘導用のブロックの敷設



まちなみに配慮した憩いの空間



車椅子使用者が利用しやすいトイレ



誰もが使える総合案内板



玄関や窓口業務事務所の
出入り口の自動ドア化
緩やかな購買の手すり付き階段
車椅子使用者も楽に通過できる廊下



車椅子使用者用の駐車場

資料：国土交通省HP ユニバーサルデザインの実現を目指した人にやさしい官庁施設の整備

<福山市におけるユニバーサルデザインに配慮した都市づくり>



多言語、筆談、車椅子に
対応した福山駅観光案内所



車いす利用者も安心して
利用できるスロープ



屋根が設置された
身体障がい者用駐車場

資料：福山市HP

✓ユニバーサルデザインによる歩行空間の整備など誰もが快適に暮らせる都市空間の形成が必要

都市づくりの視点と課題

<都市づくりの視点と問題点>

1.人口動態について	人口減少、少子高齢化
・年少人口及び総人口は減少する一方、高齢者人口は増加すると予測。人口減少・高齢化に対応した都市構造を実現するために、拠点形成、土地利用及び適切な都市機能の配置について検討が必要。	
2.産業について	労働市場の縮小、産業用地の不足
・福山市では、ものづくり産業が地域経済を牽引しているが、人口減少に伴う労働市場の縮小、企業の流出などを背景とした地域経済の縮小が懸念。物流機能や生産基盤の機能の維持・強化が必要。	
3.居住環境について	多様化する居住ニーズ、空き家等の増加
・社会環境の変化を踏まえた居住環境の整備に向け、公園・緑地、上下水道等の各種インフラ整備など住宅周辺の環境整備が重要。空き家率が増加傾向にあるため、空き家対策も必須。	
4.中心市街地について	低未利用地の顕在、駅周辺の滞在性
・中心市街地において空地など低未利用地が発生し、都市の活力の減少が懸念。賑わいのあるまちづくりに向けたウォーカブル空間の形成など都市の魅力向上が必須。	
5.公共交通・道路ネットワークについて	公共交通利用者数の減少、慢性的な交通渋滞
・人口減少や高い自動車保有率を背景に公共交通事業の持続が懸念。公共交通の再構築に向けた取り組みや広域交通ネットワークを活かした都市間連携及び渋滞解消に向けたアクセス改善として道路ネットワークの強化が必要。	
6.公共施設等について	公共施設等の老朽化、厳しい財政状況
・公共施設等の老朽化が進行し、維持管理・更新費用の増加が懸念される中、市民ニーズに的確に応えていくためには、公共施設等の配置及び規模の適正化、計画的な維持管理が必要。	
7.自然災害について	自然災害の頻発化と激甚化
・自然災害が頻発化・激甚化傾向にあり、平成30年度7月豪雨では、福山市においても広範囲で浸水被害が発生。自然災害リスクが高まる状況において包括的な防災対策が急務。	
8.景観・歴史・文化について	地域資源の活用
・歴史的・文化的資源、豊かな自然環境など多様な地域資源を活用した都市の魅力向上が求められるため、景観・歴史・文化的資源の保存・活用が重要。	
9.環境について	気候変動
・地球温暖化を背景とした脱炭素・循環型社会の構築、地域環境の保全、自然共生社会の構築を推進することにより、豊かな自然と快適な暮らしが調和した都市の形成をめざします。	
10.ユニバーサルデザインについて	誰もが暮らしやすい
・ユニバーサルデザインにより、誰もが快適に暮らせる都市空間の形成が必要。	

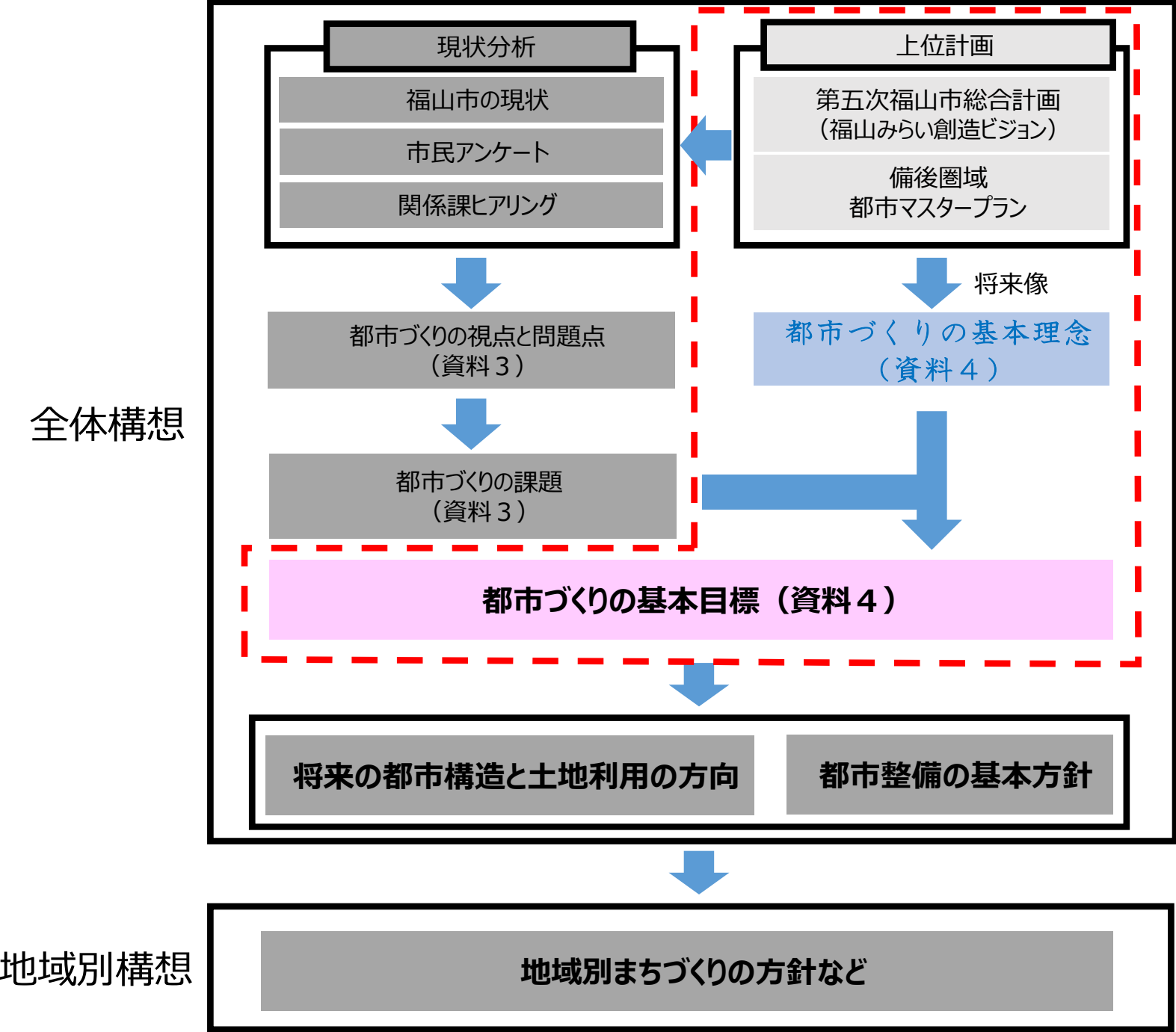
<都市づくりの課題>

拠点の形成・土地利用
●多極ネットワーク型コンパクトシティの形成 ●有効な土地利用、空家の活用及び居住環境の形成 ●市街化調整区域・都市計画区域外の土地利用の明確化
産業の維持・強化
●産業を支援する拠点と物流機能向上に向けた幹線道路の充実・強化
中心市街地の活性化
●中心市街地における有効な土地利用及び都市機能の充実・強化
公共交通の維持・道路ネットワークの強化
●公共交通体系の確立 ●誰もが快適に移動できる道路ネットワークの充実
既存ストックの有効活用
●公共施設等の適正配置及び適切な維持管理の推進
防災力の高い都市づくり
●自然災害に強い都市づくりの推進
景観・歴史・文化の保存活用
●憩いの場及び歴史・文化の機能充実 ●良好な景観形成の推進
環境と人にやさしい都市づくり
●地球環境に配慮した都市づくりの推進 ●人にやさしい都市づくりの推進

【資料 4】

都市づくりの基本理念と基本目標

都市づくりの基本理念と基本目標



都市づくりの基本理念と基本目標

：拠点・地域資源に関する内容

：安心・安全な暮らしに関する内容

＜備後圏域都市計画区域マスタープラン（R3.3）における目指すべき将来像＞

瀬戸内海中央部の発展を牽引する魅力と活力にあふれる備後圏域

備後圏域は、ものづくり産業を中心に多くの上場企業やオンリーワン・ナンバーワン企業を生み出す革新的な風土が根付いた中四国地方の経済の要衝として、隣接する岡山県や架橋により連携が強化された愛媛県などの瀬戸内海中央部の発展を牽引していく役割を担います。

また、陸海空の恵まれた広域交通基盤と史跡や重要伝統的建造物群保存地区等の歴史文化資源、瀬戸内海の多島美、里山の豊かな自然環境など多様で魅力的な地域資源を有するポテンシャルを活かした定住・交流人口の拡大による地域活性化を目指します。

＜安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン（R2.10）における目指す姿＞

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

県民の挑戦を後押し

先行きが不透明な時代においても、県民一人一人の生活の基軸は仕事と暮らしの充実であることに変わりありません。県民一人一人がクラス環境や立場はそれぞれ異なりますが、まずは県民が抱く不安を軽減して安心につなげるとともに、県民の誇りにつながる強みを伸ばして、安心の土台と誇りの高まりにより、県内のどこに住んでいても県民一人一人が夢や希望に挑戦できる社会を目指します。

適散・適集な地域づくり

将来にわたり発展し続けるため、本県の強みである「都市と自然の近接性」を最大限生かした、自然豊かで心身が癒される分散と、イノベーションを創出する知の集積や集合をうまく組み合わせ、それらを思いのままに行き来できる適散・適集な地域づくりを進めます。

- ①県全体の発展を牽引する魅力ある都市の形成 ②自然豊かで分散を活かした中山間地域の形成 ③利便性の高い集約型都市構造の形成
【備後圏域における拠点となる福山市】都市機能の強化は備後圏域の中核都市である福山市においても圏域全体の発展や県東部の経済成長の要として広島市と同様に必要となります。

欲張りなライフスタイルの実現

新しい社会においても、県民の皆様がそれぞれ抱く夢や希望をあきらめることなく、将来に向けて更なる一步を踏み出す様々な挑戦の後押しを進めることで、県民一人一人の「欲張りなライフスタイルの実現」につなげていきます。

都市づくりの基本理念と基本目標

：拠点・地域資源に関する内容

：安心・安全な暮らしに関する内容

＜福山みらい創造ビジョン（R3.3）における目指すまちの姿＞

新たな分散型社会の下で、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市

デジタル化の推進などにより、大都市圏等から人や企業を呼び込む環境をつくるとともに、誰もが柔軟にライフスタイルを選択できる、新たな分散型社会の実現を目指します。

「新分散型社会」を全国に先駆けて実現し、国全体が多極集中※へ向かう中で、福山市が一つの“極”となるべく、他の都市圏の人や企業との連携も円滑にできる環境づくりを進めます。備後圏域の玄関口である福山駅周辺を、圏域外から人や企業をひき付ける拠点性の高い都市空間にしていきます。同時に、新たに策定する地域戦略において、個性豊かで活力ある地域づくりを進めていきます。これらにより、市域のあらゆる場所で心豊かな暮らしが実現できる魅力的な都市を創造していきます。

本格的な人口減少時代を迎えるからこそ、コロナ後の社会を予見し、適応していくことで、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市を目指します。

※ 大都市圏から地方都市へと人の流れを生み、定着させる“極”となる都市・地域が全国に幅広く分布しており、その中心部は歩いて楽しめるコミュニティ空間になっている状態のこと。

＜現行都市マスタープラン（H20.8）における都市づくりの基本理念＞

拠点性と求心力を備えた 活力ある都市づくり

福山市が瀬戸内の十字路に位置している優位性を生かすとともに、合併地域を含めた地域資源や潜在能力をさらに磨き、中国・四国地方の拠点都市としての拠点性と求心力を備えた活力ある都市づくりを目指します。

安心・安全で快適に暮らせる都市づくり

住んでみたい、行ってみたい都市、そして子どもや高齢者、障がいのある人をはじめすべての市民が福山市に住んでよかったと思えるような、安心・安全で快適に暮らせる都市づくりを目指します。

都市づくりの基本理念と基本目標

＜上位計画等＞

：拠点・地域資源に関する内容

：安心・安全な暮らしに関する内容

＜備後圏域都市計画区域マスタープラン＞

- ・中四国地方の経済の要衝
- ・広域交通基盤と歴史文化資源等を活かした地域活性化

＜福山みらい創造ビジョン＞

- ・福山市が一つの“極”となる
- ・福山駅周辺を、圏域外から人や企業をひき付ける拠点
- ・市民一人一人の安心な暮らし



＜都市づくりの基本理念＞

拠点が相互に繋がり魅力を高めあう都市づくり

産業、文化、自然など、これまで培ってきた地域資源を生かした拠点づくりと拠点間の結びつきを強めることで、福山市が備後圏域の発展を牽引する中国・四国地方の拠点都市として、魅力ある都市づくりをめざします。

【現行】拠点性と求心力を備えた活力ある都市づくり

福山市が瀬戸内の十字路に位置している優位性を生かすとともに、合併地域を含めた地域資源や潜在能力をさらに磨き、中国・四国地方の拠点都市としての拠点性と求心力を備えた活力ある都市づくりを目指します。

安心・安全で快適に暮らせる都市づくり

災害から市民の生活を守るなど安心・安全に暮らすことができるとともに、こどもから高齢者、障がいのある人をはじめすべての人にとって暮らしやすいと思えるような都市づくりをめざします。

【現行】安心・安全で快適に暮らせる都市づくり

住んでみたい、行ってみたい都市、そして子どもや高齢者、障がいのある人をはじめすべての市民が福山市に住んでよかったと思えるような、安心・安全で快適に暮らせる都市づくりを目指します。

都市づくりの基本理念と基本目標

<都市づくりの課題>

拠点の形成・土地利用

産業の維持・強化

中心市街地の活性化

公共交通の維持・
道路ネットワークの強化

既存ストックの有効活用

防災力の高い都市づくり

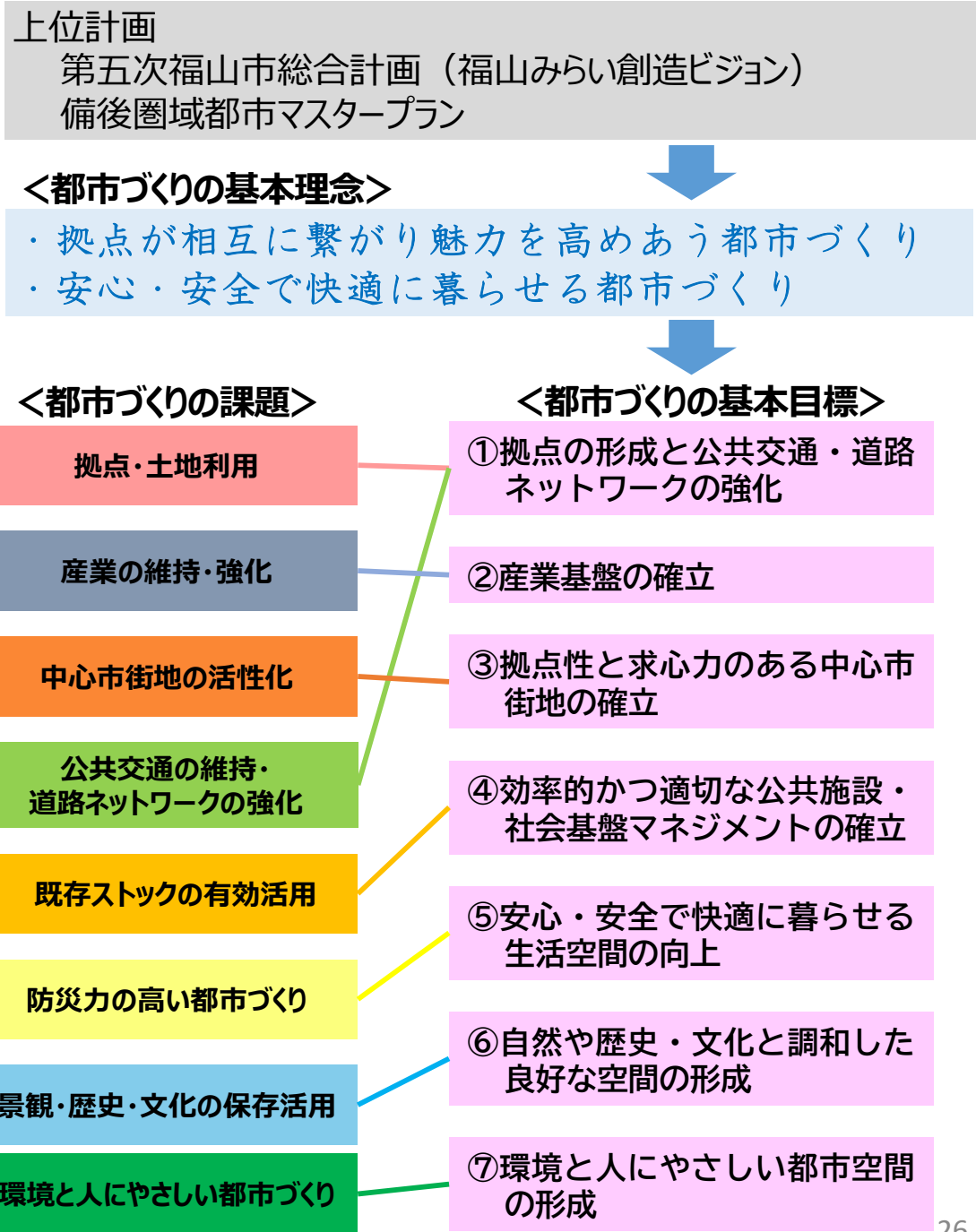
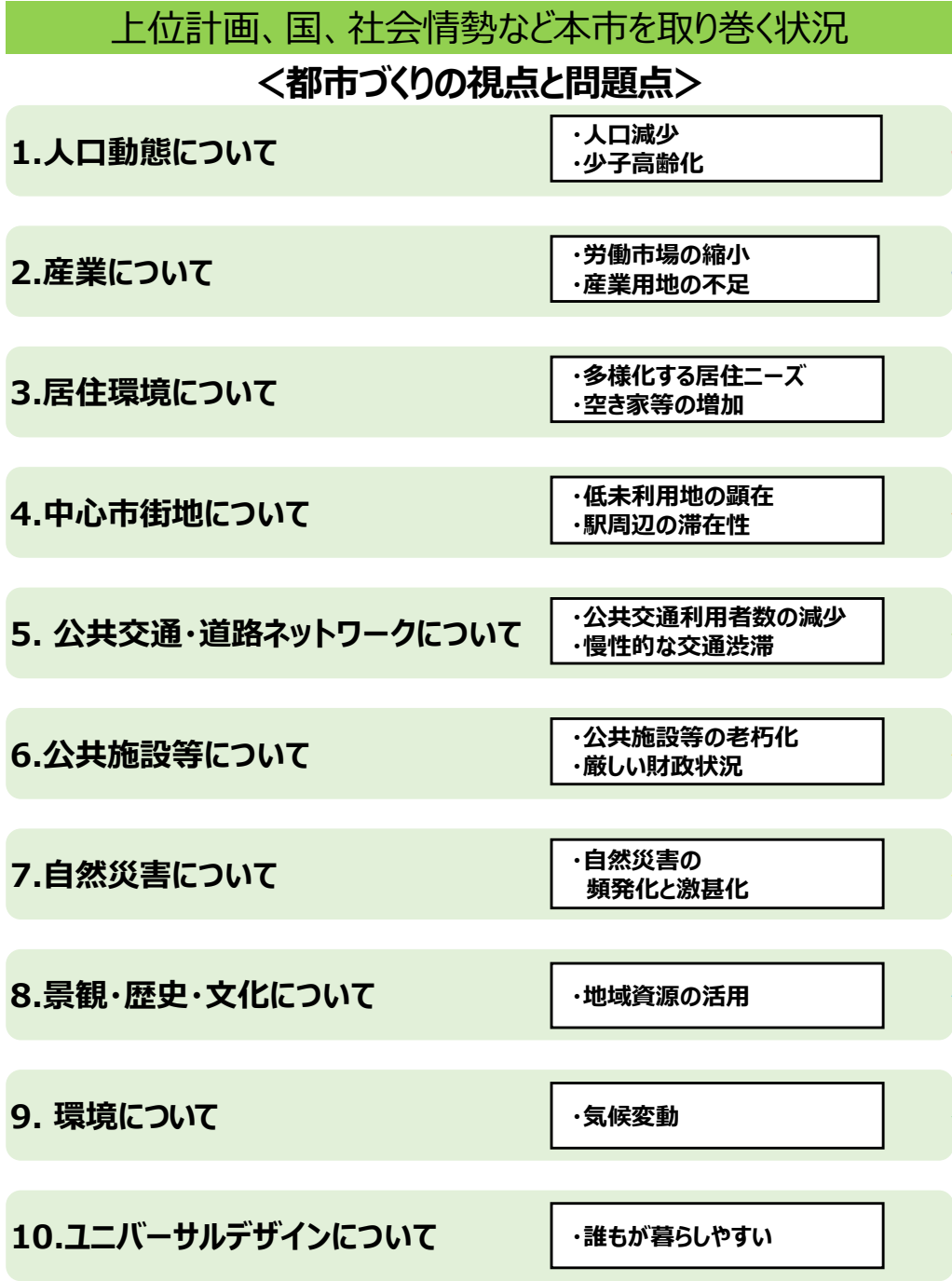
景観・歴史・文化の保存活用

環境と人にやさしい都市づくり

<都市づくりの基本目標>

- ①**拠点の形成と公共交通・道路ネットワークの強化**
人口減少・少子高齢化などの社会環境の変化に対応するため、土地利用を明確化し、拠点への機能及び居住の集約を推進するとともに、公共交通や道路ネットワークにより、拠点間の連携強化をめざします。
- ②**産業基盤の確立**
新たな産業団地の確保など産業活動を支える基盤整備を推進するとともに、土地の有効活用と物流ネットワークの強化による産業競争力の強化をめざします。
- ③**拠点性と求心力のある中心市街地の確立**
多様かつ高次の都市機能の集積やウォークブル空間の形成による賑わいの創出により中国・四国地方の拠点都市にふさわしい拠点性と求心力のある中心市街地の確立をめざします。
- ④**効率的かつ適切な公共施設・社会基盤マネジメントの確立**
社会経済情勢の変化を踏まえ、公共施設等の配置及び規模の適正化を図るとともに、計画的な維持管理・更新を実施します。
- ⑤**安心・安全で快適に暮らせる生活空間の向上**
だれもが安心・安全で快適に暮らせるよう、防災・減災の推進などによる生活空間の向上をめざします。
- ⑥**自然や歴史・文化と調和した良好な空間の形成**
自然と調和した潤いのある空間の形成とともに、歴史や文化などの地域資源を生かした良好な景観の形成をめざします。
- ⑦**環境と人にやさしい都市空間の形成**
地球温暖化等を背景とした脱炭素・循環型社会の構築と地球環境の保全を推進することにより地球環境への負荷を抑えるとともに、ユニバーサルデザインにより誰もが快適に暮らせる都市の形成をめざします。

まとめ



改定のスケジュール

改定のスケジュール

次期都市マスタープランの構成 (現行の都市マスタープランと同様)

<全体構想>

(1年目)

第1章 福山市の現状と課題

第2章 都市づくりの理念と基本目標

第3章 将来の都市構造と土地利用の方向

第4章 都市整備の基本方針

<地域別構想>

第5章 地域別まちづくりの方針

<今後の都市づくりの推進に向けて>

スケジュール・検討内容（1年目）

第1回検討委員会(2024年9月4日)

- ・ 福山市の現状
- ・ 現行都市マスの取組実績
- ・ 市民アンケートの実施内容

第2回検討委員会(本日)

- ・ 現行都市マスの評価
- ・ 都市づくりの視点と課題
- ・ 都市づくりの基本理念と基本目標

改定のスケジュール

次期都市マスタープランの構成 (現行の都市マスタープランと同様)

<全体構想>

第1章 福山市の現状と課題

第2章 都市づくりの理念と基本目標

(2年目)

第3章 将来の都市構造と土地利用の方向

第4章 都市整備の基本方針

<地域別構想>

第5章 地域別まちづくりの方針

<今後の都市づくりの推進に向けて>

スケジュール・検討内容（2年目）

第3回検討委員会(2025年5月頃)

- ・都市マスの骨子の作成

都市づくりの方向性を決定

第4回検討委員会(2025年8月頃)

- ・都市整備の基本方針

第5回検討委員会(2025年12月頃)

- ・地域別まちづくりの方針
- ・今後の都市づくりの推進方法

パブリックコメント実施

第6回検討委員会(2026年3月頃)

- ・パブリックコメントの結果
- ・全体のとりまとめ

都市マスタープラン改定